



目指す学校像

児童一人一人が自分の将来に向けて成長できる安全で安心な学校

I 学校教育目標

1. 基本目標

豊かな心と自ら学び考える力をもった心身ともに健康な児童を育成する。

2. 具体目標

○ よく考える子

- ・基礎基本を確実に身に付けた子
- ・学び方を身に付け、問題や課題を粘り強く考え、進んで解決しようとする子
- ・自分の考えや思いを相手に分かるように表現できる子

○ 思いやりのある子

- ・相手の気持ちになって物事を考え、行動できる子
- ・困っている人を進んで助けられる子
- ・きまりを守る子

○ たくましい子

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康や安全を考えて生活できる子
- ・明るく元気に遊びや運動に取り組む子
- ・困難や苦しさから逃げないで最後までやりぬく子

II 学校経営の方針

- 1 日常の安全点検や避難訓練の充実、交通、防犯上の安全指導等の徹底に努め、安全で安心な学校づくりを行う。また、児童が身の回りの状況から危険を予測し、よりよい行動を考え、安全な行動を選択できるための危険予測能力・危険回避能力を高めることを推進する。
- 2 学習指導要領・群馬県学校教育の指針、伊勢崎市教育行政方針・学校教育方針に基づいて、特色ある学校経営の推進に努める。
- 3 教職員の参画態勢の確立に努め、伊勢崎学校教育構想の具現化を推進する。
- 4 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業を目指し、実践的な校内研修を推進する。
- 5 児童・教職員の情報活用能力の育成に努め、いせさきGIGAスクール構想を推進する。
- 6 児童一人一人に寄り添い、自己肯定感・自己効力感・自己有用感がもてる教育活動を推進する。
- 7 働き方改革を推進し、教育活動の充実を図るとともに、児童と向き合える場を増やす。
- 8 教職員の協働態勢（チームワーク）により、組織的、機動的な教育活動を推進する。

III 学校教育スローガン

「未来の自分のためにチャレンジ！」 えがおであいさつ ていねいな文字

IV 本年度の努力点

1 学力の向上「自分の学びを表現できる力を育てる授業づくり」

＜関連：確かな学力向上プラン＞

- (1) 年間指導計画・全体計画等各種教育計画の工夫改善を図り、学習指導要領の実施、適正な教育課程の管理運営に努める。
- (2) 学力向上コーディネーターのリーダーシップのもとに、学年内の共通指導を充実させ、授業形態やノート指導等の工夫により、基礎学力の向上に努める。
- (3) 実践的な校内研修やOJTを核に、児童の「なぜ？」から、「分かった！できた！」「もっとやりたい！」へ導く、「自分の学びを表現できる力」を育てる授業改善・授業力の向上に努め、「わかる・できる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できるようにする。

- (4) 学習の目標を達成するために、ICT 機器を効果的に活用し、児童一人一人がより主体的に課題に取り組み、学びを深められるような授業スタイル（個別最適な学び・協働的な学び）への転換を図るように努める。
 - (5) 英語を楽しみ、英語力を身に付けるため、「伊勢崎市小中一貫英語力向上カリキュラム」に即した授業改善及びモジュール授業を行う。
 - (6) 生きて働く「確かな学力」を身に付けるため、教育活動を吟味し充実を図る。
 - (7) 「あすま小 学習の約束」の全校共通指導の徹底を図る。
 - (8) 「あすま小 家庭学習の手引き」により家庭学習を充実させ、基礎・基本の定着を図る。
- 2 豊かな心の育成 「子どもに寄り添った温かな学級経営」＜関連：豊かな心育成プラン＞
- (1) 明るいあいさつ・返事、丁寧な文字、「あすま小 生活の約束」「いせさき未来スキル」の指導を中心とした基本的生活習慣の育成・生活スキルの向上を図る。
 - (2) 児童一人一人の自己肯定感・自己有用感を育む学級経営・体験活動を推進し、自他を尊重する人間関係づくり・学び合う集団づくりを行う。
 - (3) 行事等での教育活動における児童の「意識化」「主体的な活動」を通して心の育成に努める。
 - (4) 道徳推進教師のリーダーシップのもとに、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図る。
 - (5) 「あすま小いじめ防止基本方針」を全職員が熟知し、いじめや問題行動、不登校の未然防止に努めるとともに、担任と児童との触れ合いを増やし、心の居場所づくりをすすめる。
 - (6) 環境美化の推進
 ○教室・机・ロッカー等身の回りの整理整頓 ○子ども・教師が一緒に行う清掃時間
 ○花・緑・歌声の潤いがある環境
 - (7) 豊かな心をはぐくむ読書活動・合唱指導を充実する。
- 3 健康増進と体力の向上 「健康で、最後までねばり強くやりぬく子どもの育成」
 ＜関連：豊かな心育成プラン＞
- (1) 運動を楽しみ、仲間とともに体力向上できる体育授業や体育行事を充実させ、体力の向上と粘り強く取り組む子どもの育成を図る
 - (2) 家庭との連携をすすめ、食育の推進に取り組む。
 - (3) 交通・防犯上の安全指導を徹底し、自ら安全を心がける子どもを育てる。
- 4 一人一人の障害や特性等に配慮した指導を充実させる。
- (1) 特別支援コーディネーターを中心に、一人一人の障害や特性に応じた指導の充実に努める。
 - (2) 障害や問題を抱えた児童が存在感と安心感をもって活動できる学級・学年・学校づくりに努める。
 - (3) 障害の有無に関係なく誰もが学びやすいユニバーサルな教育を推進する。
- 5 安全で、安心な学校づくりに努める。
- (1) 学校施設・設備の定期点検、随時の点検による安全管理を徹底する。
 - (2) 避難訓練・防犯訓練の充実と、危機管理マニュアルの機能化に努める。
 - (3) 家庭・地域と協力した安全運動を推進する。
 - (4) 新型コロナウイルス感染予防対策・熱中症対策・食物アレルギー対応を徹底する。
- 6 地域とともにある学校づくりを通して教育活動を充実させる。＜関連：市民性育成プラン＞
- (1) 各教科等の学習支援ボランティアを活用した教育活動を充実する。
 - (2) 学級・学年便り、学校便り、ホームページ等で学校の取組を保護者や地域に伝え、教育活動の協力を得る。
 - (3) 地域との連携を深め、人との交流や体験活動の充実に努める。
- 7 教職員の参画態勢の確立に努め、充実した教育活動を展開する。
- (1) 学校の重点課題の共通理解を図り、解決策を明確にして組織的に取り組む。
 - (2) 教職員各自が自分の分掌の役割を果たすとともに、協働体制を充実させる。
 - (3) 「報告・連絡・相談」を密にした教育活動を展開する。
 - (4) 教職員の行動指針
 - ① 安 全 ・子どもの安全・安心を第一にした施設・設備・活動
 - ② 共 育 ・子どもとともに自らも学び成長し続ける教師
 - ③ 誠 実 ・誠実・公正・公平な行動による、児童、保護者、地域との信頼関係の構築
 - ④ 協 働 ・チームワークを大切に、いきいきと働ける職場づくり